

令和6年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実践的・体験的な学習を生かして、日々の生活をよりよくするために主体的に関わろうとする関心が高まっている。
- ・家庭生活について振り返る時間を設定したり、児童同士で話し合ったりすることで、日常生活に必要な基礎的な理解やそれに関連する技能が習得できている。

(2) 課題

- ・家庭や地域との関わりが少なく、家庭生活に興味や関心をもつことが難しい児童がいる。
- ・学習の中で習得した知識や技能を、日常生活の場に十分生かしているとは言えない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） *実施なし

(2) 分析（観点別）

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○家族の仕事を見ていることはあっても実際に行った経験は少なく、学習を通して新たに知識を習得している児童が多い。日常生活の中で繰り返し実践する機会が少なく、定着に結び付かないこともある。 ○生活経験の差はあるものの、学習の中で習得した知識と技能を実践していこうとする姿勢は大いに見られる。しかし、調理や裁縫の技能は個人差が大きい。	○家庭生活を見直し、見出した課題の解決方法を考えることはできるが、実際に日常生活の中で生かそうとする力に課題が見られる。 ○家族と触れ合ったり、協力して家族の仕事をしたりする時間を十分に確保することが難しく、経験の積み重ねから課題解決の工夫につなげることが十分できているとは言えない。	○調理実習や小物作りなどの実践的・体験的な活動に対する関心は高く、楽しく実習や製作活動などに取り組んでいる。 ○学んだことを家庭で実践していく取り組みについては個人差が大きい。また、家庭で実践したり、調べたりする課題に取り組めない児童もいるため家庭との連携が課題である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○基礎基本を押さえた授業を展開し、身に付けた知識をもとに家庭で繰り返し実践する機会をつくる。 ○技能の習得を図るために、段階を追って丁寧に指導する。個別指導が必要な児童への時間を確保し、基礎的技能の習得に取り組めるようにする。	○自分の生活を見つめ直したり、振り返ったりする活動を通して、家族・地域の人などに関わる経験の大切さを知り、人との関わりを増やそうとする意欲・態度を育てる。	○ICT を活用し、学習への興味関心を高めるとともに、自分の課題に対して粘り強く取り組めるようにする。また、実践的・体験的な活動を今後も多く取り入れ、日常生活の中で実践する意欲を育てるようにする。